

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当受領株主確定日	期末配当金については3月31日 中間配当金については9月30日 (当期は中間配当を実施しておりません。)
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人 及び特別口座の口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 (郵便物送付先) (電話照会先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
証券・銘柄コード	7458

<お知らせ>

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関になっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 当社は、貸借対照表及び損益計算書並びに連結貸借対照表及び連結損益計算書を、当社ホームページ(<http://www.dkkaraoke.co.jp/>)に掲載しております。

CONTENTS

株主の皆様へ

セグメント別概況

連結決算概要

株式の状況

会社概要

DKプロモーション

ECHO

Vol.27 第34期 決算のご報告
2008年4月1日～2009年3月31日

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第34期（2008年4月1日～2009年3月31日）の決算をお届けいたします。

私ども第一興商グループは、音楽や歌を通して世の中に明るさや活力をお届けするべく、グループ丸となって事業に取り組んでおります。

また、経営の観点では継続的・安定的に健全な財務実績を残すことにより、株主の皆様への利益還元と社会への貢献を目指しております。

当期におきましては、百年に一度とも表現される景気の急速な悪化が続く状況にもかかわらず、一定の成果を収めることができましたものと自負しております。

これも、カラオケや音楽を日々楽しんでいただいている方々と、株主の皆様のご理解ご支援によるものと深く感謝しております。

今期も厳しい経営環境が続くものと思われませんが、当社グループはそれを新たな成長に向けたチャンスととらえております。

また、カラオケ事業における創業者の経験と全国の営業マンに対する求心力を期待し、更に強固な営業体制を築くため、保志忠彦が代表取締役会長として経営に復帰いたしました。

株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当期の概況

当期におけるわが国経済は、期央まで堅調な設備投資と輸出に支えられ好調を維持しましたが、昨年9月の米国金融機関の破綻以降、海外経済の急減速や円高を背景に、国内景気を牽引してきた輸出の急激な悪化と雇用情勢や消費マインドの冷え込みにより、景気は一段と厳しさを増して推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、景気後退により個人消費が

代表取締役社長

和田康孝



低迷するなか、クラブ・スナックなどのナイト市場は依然厳しい状況が続いております。また、カラオケボックスなどのデイ市場におきましても、期後半から集客に若干の弱さが見受けられたものの、身近なレジャーとして堅調に推移いたしました。

このようななか、当社グループにおきましては、業界随一を誇る本人映像やライブ映像など多彩な背景映像をはじめ、付加価値の高いコンテンツを提供するフラッグシップ商品「プレミアムDAM (DAM-XG1000)」を中心に、商品の販売及び賃貸の拡大に努め、併せて業務用ネットワークのブロードバンド化に注力してまいりました。また、カラオケルームと飲食店の多店舗・複合型店舗展開を進めるとともに、音楽ソフト事業におきましてもヒット曲の創出と音楽配信売上の増加に努めるなど各事業へ積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当期の売上高は、カラオケ・飲食店舗事業と音楽ソフト事業が増収となったものの業務用カラオケ事業の減収により125,083百万円（前期比1.4%減）となりました。利益面におきましては、カラオケ・飲食店舗事業の増益と好調な音楽ソフト事業の増益から営業利益は16,659百万円（同1.7%増）、営業外収支の改善から経常利益は17,460百万円（同6.3%増）といずれも前期に引き続き過去最高益を更新いたしました。また、特別損失における投資有価証券評価損の減少や法人税負担の大幅な軽減などから、当期純利益におきましても過去最高の10,885百万円（同85.5%増）となりました。

なお会計処理の変更により、従来販売費及び一般管理費に計上していた「販売促進費」の一部について当期より売上高から

直接減額することとし、これにより売上高は従来に比べ1,306百万円減少しております。また当期より「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用したことに伴い営業利益は従来に比べ635百万円減少しております。

来期の見通し

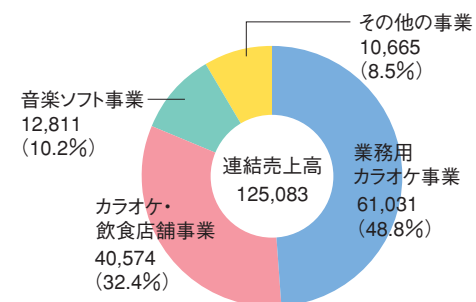
今後の経済見通しにつきましては、輸出と金融市場の不透明感を背景に、引き続き個人消費や設備投資の低迷が予想されるなど、厳しい状況で推移するものと思われま。

当社を取り巻く事業環境におきましても、個人消費の低迷による影響は予断を許さない状況と予想されるものの、身近で手軽に楽しめるカラオケ需要は、弱含みながらも安定的に推移するものと予想しております。

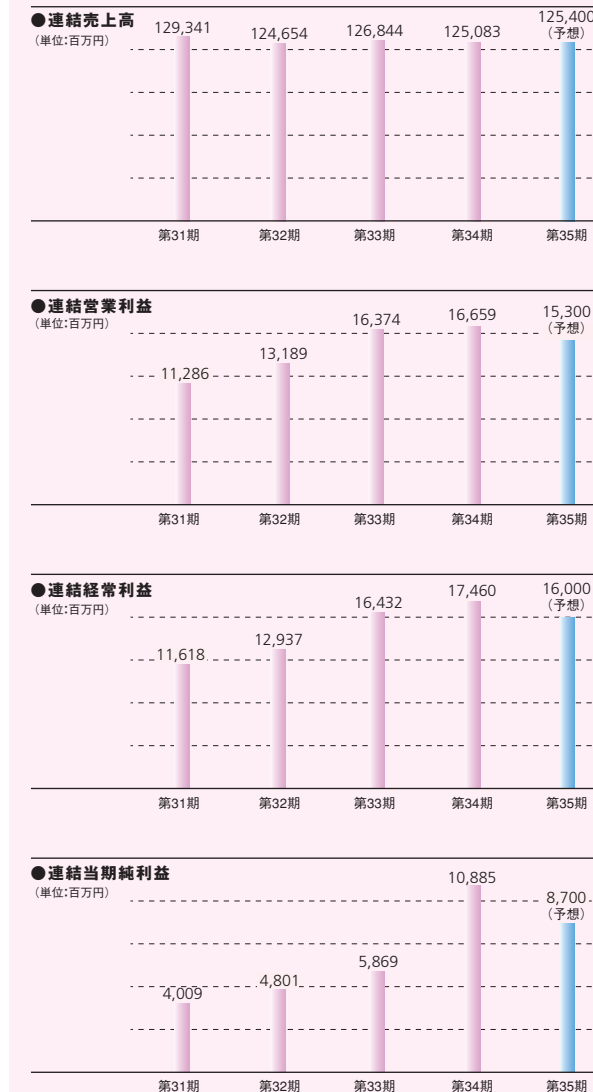
このようななか、当社グループにおきましては、カラオケ業界のリーディングカンパニーとして、常に先進性・信頼性・安全性をモットーに高品質な商品とサービスを提供してまいります。また、急激な事業環境の変化にも柔軟に対応できる経営体制とコーポレートガバナンスの充実を図り、音楽を通じて社会に貢献する企業グループを目指してまいります。

来期の業績につきましては、売上高1,254億円、営業利益153億円、経常利益160億円、当期純利益87億円を見込んでおります。

連結売上高構成比（単位：百万円）



連結財務ハイライト



業務用カラオケ事業

当事業におきましては、カラオケ業界のリーディングカンパニーとして、エンドユーザーに向けたPR活動や「全日本カラオケグランプリ」の開催などにより、カラオケ参加人口の増加と定着に努めてまいりました。また、昨年12月に開始した「DAM★とも」サービスは、プレミアムDAMとインターネットを結ぶ新たなカラオケの楽しみ方として今後のプレミアムDAMの販売促進に資するものと期待しております。

一方、当社グループでは、景気や消費動向に左右されない長期安定的な収益獲得を目指しストック型ビジネスの拡大に注力しており、その成果として、今後の安定収益源である機器賃貸契約件数やDAM稼働台数は着実に増加いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は機器販売が新商品を発売

した前期に比べ低調であったことや会計処理変更の影響から前期比7.6%の減少となり、営業利益は情報提供料の増益や販売費の低減に努めたものの前期比6.9%の減少となりました。

今後の取り組みにつきましては、主力商品「プレミアムDAM」の機能とコンテンツのブラッシュアップを図るとともに、安定収入の基となる「DAM」シリーズの更なる稼働台数の増加に注力してまいります。また、TV番組「歌スタ!!」とのタイアップをはじめとするオーディションコンテンツ、更に日本最大級のスケールを誇る「全日本カラオケグランプリ」、現在注目を集める「DAM★とも」によるカラオケ新スタイルの提案など今後も業界の活性化とカラオケ参加者の拡大のため、様々な取り組みを展開してまいります。

(単位：百万円)

	前 期	当 期	対前期増減	増減率
売 上 高	66,069	61,031	△ 5,038	△ 7.6%
営 業 利 益	11,370	10,581	△ 789	△ 6.9%

主要数値

	単位	前 期	当 期	対前期増減	増減率
DAM稼働台数	千台	215	218	3	1.2%
(うちブロードバンド稼働台数)	千台	(89)	(98)	(9)	9.6%
機器賃貸契約件数	千件	55	58	3	5.7%
DAM出荷台数	千台	27	23	△ 4	△ 13.3%

TOPICS (業務用カラオケ事業) — 「プレミアムDAM」販売推進 —

●新ラインアップ登場! (2009年6月)



DAM-XG1000 II R (レッド)



DAM-XG1000 II B (ブラック)

- ・フロントパネルの各種ボタンなどをゴールドへ変更
- ・ナイト市場で人気のレッドモデルを追加
- ・2TB(テラバイト)の大容量ハードディスクを搭載し、映像などのコンテンツが更に充実

●コンテンツの強化

LIVEカラオケ

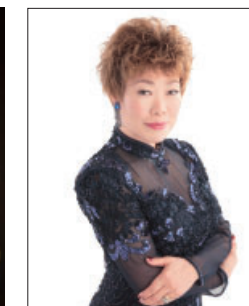
矢沢永吉



人気アーティストのライブ映像と音源をリアルに再現。圧倒的スケールの興奮と感動がよみがえります!

本人出演映像

秋元順子



大好きなアーティスト本人がカラオケ映像に続々登場。ビデオクリップを背景に本人になりきって歌えます!

DAMチャンネル

加藤夏希



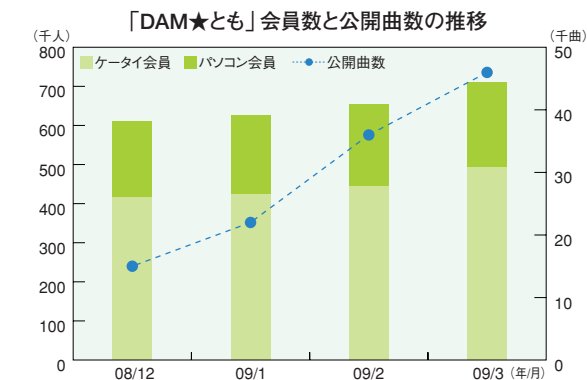
カラオケ曲間エンターテインメント情報番組「DAM CHANNEL」の新MCにモデル・女優の加藤夏希を起用しました。

●DAM★とも



「DAM★とも」会員になり、歌声を録音できるのは、「プレミアムDAM」設置店のみ!

「DAM★とも」とは、自分の歌った“うた”をパソコンや携帯電話で、いつでも聴ける、みんなに公開できる無料サービスです。アーティストとのコラボレーションにより会員数の増加に努めるとともにユーザーの「プレミアムDAM」設置店への来店を促し、カラオケ利用促進をサポートしてまいります。



カラオケ・飲食店舗事業

当事業におきましては、カラオケルーム「ビッグエコー」が開業20周年を迎え、これを記念した様々なキャンペーンやプロモーション活動を実施いたしました。また、事業効率の高い多店舗・複合型店舗展開を進めるなか、飲食店舗の出店においてはきめ細かいブランド戦略を展開するなど、稼働率と集客の向上に努めてまいりました。

当期においては、カラオケルーム「ビッグエコー」23店舗を新規出店し、5店舗を閉店する一方、飲食店舗におきましては、主力ブランド「楽蔵」をはじめ25店舗を新規出店し、6店舗を閉店した結果、当期末現在でビッグエコーが235店舗（国内233・海外2）、飲食店舗は15ブランドの88店舗（国内88）が稼働しております。

以上の結果、当事業の売上高は、期後半の景気減速のな

が既存店売上高は健闘し、また、店舗数の増加もあり前期比6.1%の増加となりました。営業利益は出店コストの増加はあったものの、販売費の低減に努め前期比4.7%の増加となり、当事業として最高益となりました。

今後の取り組みにつきましては、カラオケルーム「ビッグエコー」では最高の音・空間・サービスの提供にこだわり、ビッグエコーブランドの更なる向上を目指してまいります。飲食店舗では、主力となる次期ブランドの開発や、新しい客層をターゲットとした新業態の開発にも取り組んでまいります。また事業効率の高いビッグエコーと飲食店舗の複合型店舗展開を継続するとともに、好立地での新規出店に積極的に取り組み、集客の向上と収益の拡大に努めてまいります。

(単位：百万円)

	前 期	当 期	対前期増減	増減率
売 上 高	38,235	40,574	2,338	6.1%
営 業 利 益	5,301	5,549	248	4.7%

主要数値

	単位	前 期	当 期	対前期増減	増減率
ビッグエコー店舗数	店	215	233	18	8.4%
(うち複合店舗数)	店	(24)	(29)	(5)	20.8%
” ルーム数	ルーム	6,370	6,678	308	4.8%
飲食店舗数	店	69	88	19	27.5%
” 座席数	席	8,358	10,956	2,598	31.1%

(注)上記数値には海外店舗を含んでおりません。

TOPICS (カラオケ・飲食店舗事業) — 新店紹介 —

カラオケ・飲食店舗事業ではエンターテインメントを指向し、本格的な食にこだわる空間を展開しております。最新カラオケ機器と優れた映像・音響装置を設置した「ビッグエコー」の新規出店を継続するほか、食材の産地と質にこだわった多様な飲食店舗開発も積極的に行っております。

●大型複合店舗

大宮東口店 4月 NEW OPEN

さいたま市大宮区大門町1-61-1 DK大宮ビル

6F

ウメ子の家

☎048-658-8155

梅の木が佇む楽しさ溢れる創作和食の店



5F

びすとり家

☎048-657-9522

洋の美と和のくつろぎが融合する創作料理

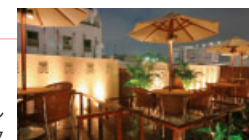


4F

東風家

☎048-657-9533

アジアンテイストな癒しの空間で本格エスニック

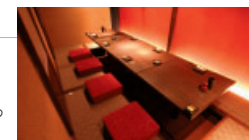


3F

楽蔵

☎048-658-0766

山海の幸を贅沢に使った本格炙りダイニング



1~2F

ビッグエコー

☎048-658-3255

キレイで広々、スタイリッシュな店内はオシャレで落ち着いた雰囲気



●新ブランド



庭園個室で楽しむ、京の風情と創作和食。光で演出された庭と格子のつづく店内は和の趣。プライベート感あふれる個室はさまざまなシーンでお使いいただけます。



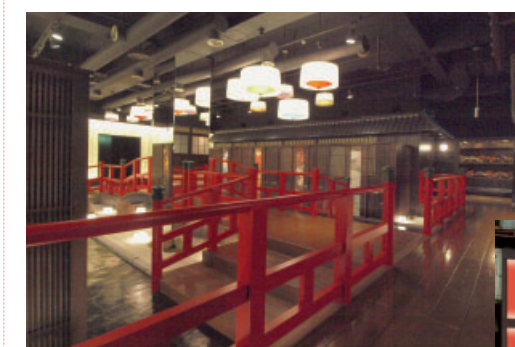
生湯葉刺し



おばんざい盛り合わせ



夢や謹製チョコレートようかん



〈横浜店〉 横浜市西区南幸2-17-1 南幸共同ビルB1

☎045-290-5225

〈すずきの店〉 札幌市中央区南4条西3-1-1 第3グリーンビル8F

☎011-522-1650



音楽ソフト事業

当事業におきましては、レコード子会社において従前から取り組んできた経営体質の強化、新人アーティストの発掘・育成及びヒット曲創出の成果が表れてまいりました。

当期におきましては、徳間ジャパンコミュニケーションズの「Perfume (パフューム)」をはじめ、「リュ・シウォン」、「水森かおり」など主力アーティストの売上が好調なことに加え、スタジオジブリの主題歌集アルバムの企画・販売も順調に推移いたしました。また日本クラウンでは、「九州男(くすお)」が昨年夏に発売したアルバムが好調だったことに加え、「北島三郎」や「鳥羽一郎」、「キム・ヨンジャ」など根強い人気の主力アーティストの売上也安定して推移いたしました。また、両子会社の音楽配信収入は前期比1.7倍と順調に伸長し収益の増加に大きく寄与いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は前期比9.1%増加となり、営業利益は2.1倍と大幅な増益となりました。

今後の取り組みにつきましては、子会社の日本クラウンと徳間ジャパンコミュニケーションズにおける経営体質の強化が図られるなか、新人アーティストの発掘からヒット曲の創出までの好循環サイクルが定着しつつあります。前期大ブレイクした「Perfume (パフューム)」や「九州男(くすお)」に続き、日本クラウンでは、演歌少女「さくらまや」をはじめ人気TV番組からデビューした「大江裕」、徳間ジャパンコミュニケーションズでは、実力派バンド「彩冷える-ayabie-(あやびえ)」などが期待されており、当社グループの総合力を活かしたサポートと積極的なプロモーション活動を行ってまいります。

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減	増減率
売 上 高	11,739	12,811	1,072	9.1%
営 業 利 益	896	1,916	1,019	113.7%

その他の事業

当事業におきましては、「スカイパーフェクTV!」をプラットフォームとする衛星放送事業や携帯電話向けコンテンツサービスのほか、不動産賃貸事業を含むその他の事業を行っております。

衛星放送事業及び携帯電話向けサービスにおきましては、加入者数は減少傾向にありますが、コストコントロールの継続によって安定した収益確保に努めております。

不動産賃貸などその他の事業におきましては堅調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は前期比1.2%減少となり、また携帯電話向けサービスの加入者数の増加を図るため販売費が増加したことから営業利益は前期比8.4%減少となりました。

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減	増減率
売 上 高	10,800	10,665	△ 134	△ 1.2%
営 業 利 益	1,737	1,591	△ 146	△ 8.4%

TOPICS (音楽ソフト事業) — 話題のアーティスト&作品 —

CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.



■ absorb

ネットから生まれた新しい形の卒業ソング「桜ノ雨」で話題沸騰中のabsorb! セカンドシングル「愛ノ詩」は長門裕之・南田洋子夫妻の愛の姿にインスパイアされて完成した、愛する人への誓いを歌うバラード。



■ 大江 裕

テレビ番組「さんまのスーパーからくりTV」で独特の風貌と真面目で不器用なキャラが受け人気者となった大江くんが遂に歌手デビュー! デビュー曲は本人憧れの北島三郎が楽曲を提供。大注目の新人です。



■ さくら まや

美空ひばり2世との呼び声も高い小学4年生の演歌少女が誕生。当社が開催する全日本カラオケグランプリ地区大会で音楽関係者の目に留まり遂にデビュー。演歌界に新星あらわる!!



■ Perfume

2009年第1弾シングル「ワンルーム・ディスコ」がオリコンウィークリーチャート1位になるなど絶好調のPerfume。7月にはニューアルバムを発売予定! まだまだ彼女たちの勢いは止まりません。



■ 彩冷える-ayabie-

2004年に結成したヴィジュアル系バンド。活動範囲は国内にとどまらず、ヨーロッパやアメリカツアーなども成功させている実力派。そして、2009年5月、遂に「会いたくて」でメジャーデビュー!



■ 崖の上のポニョ

昨年公開され話題を呼んだ「崖の上のポニョ」のDVDが2009年7月に発売決定! 同時にポニョ誕生までのドキュメンタリーを描いたDVDを発売。今年の夏も、ポニョがやってくる!

POINT

流動資産

流動資産の増加907百万円は現金及び預金の増加1,213百万円が主なものであります。

固定資産

固定資産の減少1,333百万円は投資有価証券の減少1,860百万円、繰延税金資産の減少535百万円、カラオケ賃貸機器の減少531百万円、土地の増加977百万円、無形固定資産の増加702百万円が主なものであります。

流動負債

流動負債の減少3,440百万円は未払法人税等の減少2,291百万円、短期借入金の減少1,133百万円が主なものであります。

固定負債

固定負債の減少3,917百万円は長期借入金の減少4,291百万円、役員退職慰労引当金の増加256百万円が主なものであります。

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	第33期 2008年3月31日現在	第34期 2009年3月31日現在	対前期 増減額
資産の部			
流動資産	47,414	48,321	907
固定資産	77,307	75,973	△ 1,333
有形固定資産	47,211	47,677	465
無形固定資産	6,324	7,026	702
投資その他の資産	23,771	21,269	△ 2,501
資産合計	124,721	124,295	△ 426
負債の部			
流動負債	31,428	27,988	△ 3,440
固定負債	20,893	16,975	△ 3,917
負債合計	52,322	44,964	△ 7,357
純資産の部			
株主資本	72,595	79,825	7,229
資本金	12,350	12,350	—
資本剰余金	20,362	20,362	—
利益剰余金	40,149	49,207	9,058
自己株式	△ 266	△ 2,094	△ 1,828
評価・換算差額等	△ 733	△ 1,184	△ 451
その他有価証券評価差額金	47	△ 317	△ 364
土地再評価差額金	△ 845	△ 777	67
為替換算調整勘定	64	△ 90	△ 155
少数株主持分	537	690	153
純資産合計	72,399	79,331	6,931
負債及び純資産合計	124,721	124,295	△ 426

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	第33期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで	第34期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	対前期比 (%)
売上高	126,844	125,083	98.6
売上原価	72,715	72,072	99.1
割賦販売未実現利益	△ 18	—	
売上総利益	54,109	53,010	98.0
販売費及び一般管理費	37,735	36,350	96.3
営業利益	16,374	16,659	101.7
営業外収益	1,605	1,609	
営業外費用	1,547	808	
経常利益	16,432	17,460	106.3
特別利益	518	269	
特別損失	6,405	2,281	
税金等調整前当期純利益	10,545	15,449	146.5
法人税、住民税及び事業税	5,336	3,807	
法人税等調整額	△ 813	597	
少数株主利益	152	158	
当期純利益	5,869	10,885	185.5

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〈注記事項〉	第33期	第34期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	50,696百万円	51,956百万円
2. 保証債務	691百万円	623百万円
3. 担保提供資産	8,320百万円	7,632百万円
上記に対応する債務	5,128百万円	3,873百万円
4. 1株当たり当期純利益	84円35銭	158円76銭
5. 1株当たり純資産額	1,036円52銭	1,165円60銭

POINT

売上高

カラオケ・飲食店舗事業と音楽ソフト事業が増収となったものの業務用カラオケ事業の減収により前期比98.6%、125,083百万円となりました。

営業利益

カラオケ・飲食店舗事業の増収と好調な音楽ソフト事業の増収から前期比101.7%、16,659百万円と過去最高益を更新いたしました。

当期純利益

特別損失における投資有価証券評価損の減少や法人税負担の大幅な軽減などから前期比185.5%、過去最高の10,885百万円となりました。

POINT

営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・税金等調整前当期純利益15,449百万円
- ・減価償却実施額14,012百万円
- ・投資有価証券評価損1,376百万円
- ・法人税等の支払額6,071百万円

投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・有形固定資産の取得による支出11,272百万円
- ・無形固定資産の取得による支出4,360百万円

財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・長期借入金の返済による支出10,700百万円
- ・配当金の支払額1,733百万円
- ・長期借入による収入6,250百万円

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	第33期	第34期
	2007年4月1日から 2008年3月31日まで	2008年4月1日から 2009年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,419	27,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,448	△ 17,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,516	△ 8,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 72	△ 98
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 3,618	1,283
現金及び現金同等物の期首残高	31,918	28,300
現金及び現金同等物の期末残高	28,300	29,584

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

第34期(2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定			評価・換算 差額等合計
2008年3月31日残高	12,350	20,362	40,149	△ 266	72,595	47	△ 845	64	△ 733	537	72,399
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			△ 9		△ 9						△ 9
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 1,733		△ 1,733						△ 1,733
当期純利益			10,885		10,885						10,885
自己株式の取得				△ 1,828	△ 1,828						△ 1,828
持分法の適用範囲の変動			△ 15		△ 15						△ 15
土地再評価差額金の取崩			△ 67		△ 67						△ 67
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 364	67	△ 155	△ 451	153	△ 298
連結会計年度中の変動額合計	—	—	9,068	△ 1,828	7,239	△ 364	67	△ 155	△ 451	153	6,941
2009年3月31日残高	12,350	20,362	49,207	△ 2,094	79,825	△ 317	△ 777	△ 90	△ 1,184	690	79,331

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

発行可能株式総数 200,000,000株

発行済株式の総数 69,600,596株

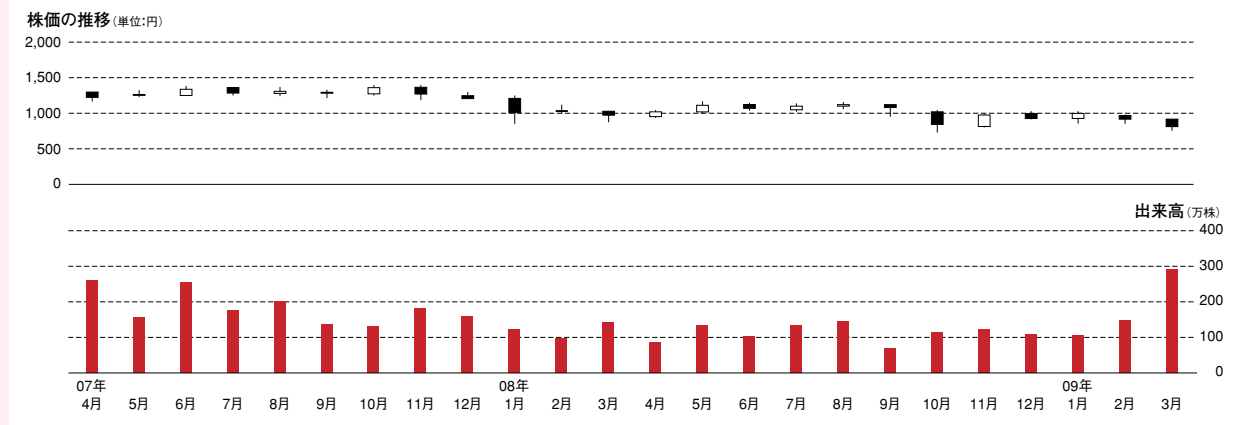
株主数 12,023名

大株主

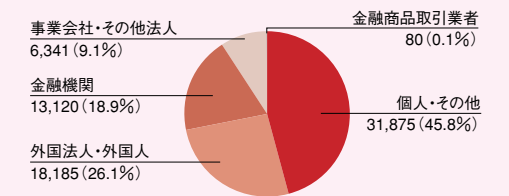
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
保 志 忠 郊	8,069	11.9
保 志 治 紀	8,020	11.8
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	4,491	6.6
(有)ホシ・クリエート	4,449	6.5
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	2,432	3.6
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,089	3.0
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505223	1,828	2.7
メロンバンクリーディングライオンツオムニバス	1,543	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4)	1,244	1.8
三菱UFJ信託銀行(株)	1,148	1.7

1. 当社は2,132,586株の自己株式を保有しております。
2. 持株数、議決権比率は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

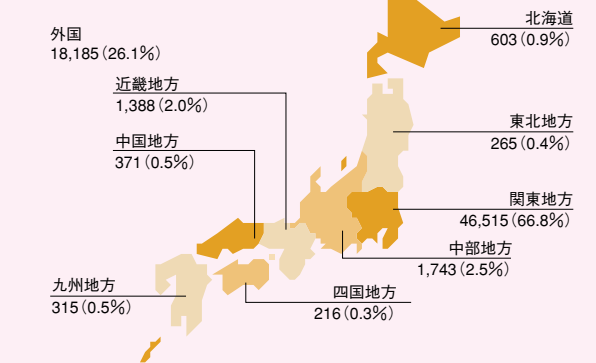
株価(月足)チャート



所有者別株式分布 (単位:千株/構成比)



地域別株式分布 (単位:千株/構成比)



■ 会社概要

■ 会社概要 (2009年3月31日現在)

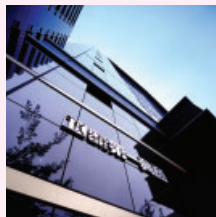
商号 株式会社 第一興商
(英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
所在地 〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26
電話 (03) 3280-2151 (大代表)
設立 1973年4月16日
資本金 12,350百万円
従業員数 当社 1,580名
グループ 3,295名
JASDAQ上場 1995年9月19日
ホームページアドレス http://www.dkkaorake.co.jp/

■ 役員 (2009年6月28日現在)

代表取締役会長	彦孝 泉郎	長
代表取締役社長	志田 康	長
専務取締役	兼 上 席 執 行 役 員	
常務取締役	兼 上 席 執 行 役 員	
常務取締役	兼 上 席 執 行 役 員	
取締役	兼 執 行 役 員	
取締役	兼 執 行 役 員	
取締役	兼 執 行 役 員	
取締役	兼 執 行 役 員	
取締役	兼 執 行 役 員	
常勤監査役		
常勤監査役		
監査役		
執行役員		
執行役員		
執行役員		
執行役員		
執行役員		
執行役員		
執行役員		
執行役員		
執行役員		
執行役員		
執行役員		

第一興商グループ
当社及び連結子会社
(2009年3月31日現在)

42社



● 主な事業内容
業務用カラオケ事業
カラオケ・飲食店舗事業
音楽ソフト事業

■ 国内販売子会社 25社

(株)北海道第一興商	(株)城北第一興商	(株)北陸第一興商
(株)釧路第一興商	(株)台東第一興商	(株)京都第一興商
(株)北東北第一興商	(株)城東第一興商	(株)第一興商近畿
(株)東北第一興商	(株)城西第一興商	(株)京阪第一興商
(株)福島第一興商	(株)湘南第一興商	(株)兵庫第一興商
(株)常磐第一興商	(株)新潟第一興商	(株)九州第一興商
(株)群馬第一興商	(株)長野第一興商	(株)沖縄第一興商
(株)栃木第一興商	(株)静岡第一興商	
(株)埼玉第一興商	(株)東海第一興商	

■ その他国内子会社 10社

(株)ディーケーファイナンス	(株)ディーケー音楽出版
日本クラウン(株)	(株)クラウンミュージック
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	(株)ズームリパブリック
(株)ファーストディストリビューション	ユニオン映画(株)
(株)トライエム	丸萩洋酒工業(株)

■ 海外子会社 7社

(株)韓国第一興商	上海必愛歌音楽餐飲有限公司
第一興商(上海)電子有限公司	上海星歌音楽餐飲有限公司
第一興商電子貿易(上海)有限公司	D.K.ENTERPRISES(GUAM),INC.
DAIICHIKOSHO(SINGAPORE)PTE.LTD.	

(注) DAIICHIKOSHO(SINGAPORE)PTE.LTD.は2009年4月に解散しております。

■ DKプロモーション

Premier DAM CM ~Sing篇~

「Premier DAM」の「顔」として定着した土屋アンナを引き続き起用。普段と違う彼女が持つ本来の純粹さ、芯の強さ、無邪気な明るさを通じ、うたう喜びの本質的な部分が伝わる爽やかな仕上がりです。CMを見て、カーペンターズの名曲「Sing」を楽しくうたっている土屋アンナの姿に、元氣と幸せをもらう人も多いのではないのでしょうか。
「Premier DAM」を通じた人と人のつながり、心と心のつながり…うたうことによるコミュニケーションの素晴らしさをたくさんの人々に感じてもらいたい。



全日本カラオケグランプリ2009
~憧れのステージ、憧れの私。~



「歌」を愛する人々に、うたう楽しみ・喜び・夢を創出し、感動の場を提供する「全日本カラオケグランプリ」。今年は皆様のご要望にお応えし、「演歌・歌謡部門」と「POPS部門」にて開催。2009年のグランプリは誰の手に?! 今すぐエントリー!

地区大会日程

北海道大会 9/19(土)	関西大会 10/12(月・祝)
東北大会 9/22(火・祝)	中国大会 9/12(土)
関東・甲信越大会 10/3(土)10/4(日)	四国大会 9/26(土)
東海・北陸大会 10/10(土)	九州・沖縄大会 10/18(日)

※地区大会は予告無く変更になる場合があります。

グランプリ大会

11/21(土) 東京 中野サンプラザホール

<お問い合わせ先>
カラオケグランプリ運営事務局 電話 03-3224-3778
(詳しくはホームページ http://www.jpkaorakegp.com/)

株主優待のお知らせ

2009年3月末日最終の株主名簿に記載された100株以上
ご所有の株主様に保有株式数に
応じて優待券を贈呈いたします。



● 優待券(1,000円券)

10枚(10,000円分)…………… 100株以上1,000株未満
25枚(25,000円分)…………… 1,000株以上

*当社が運営する「ビッグエコー」店舗、「楽蔵」「ウメ子の家」「びすとろ家」などの飲食店でご利用いただけます。

*優待券全額と引き換えを条件に、アルバムCDと交換いただけます(カタログより選択)。

アルバムCD1枚/100株以上1,000株未満
アルバムCD2枚/1,000株以上

贈呈時期:2009年6月29日より送付開始
有効期間:2009年7月1日~2010年6月30日